

コロナ禍・災害で感じた差別や生きづらさ  
“それでも地域で 私たちは生きていく”

# みやぎアピール大行動2020 実行委員会

2020.9.4.Fri No3

# News

発行／みやぎアピール大行動実行委員会事務局  
メール：appeal318@hotmail.co.jp

郡仙台市長との懇談がやっと実現！  
コロナ禍の今、安心して暮らせるための  
しっかりした体制と差別をなくすメッセージを！



8/28（金）みやぎアピール大行動実行委員会で毎年行ってきた仙台市長への面談がやっと実現しました。鷲見代表から郡市長へアピール文等を手渡したあと、代表からは「代議士時代から一緒にやってきた郡市長ことにも触れながら、コロナ禍での大変な思いを是非施策に反映を」と伝え、郡市長からは「みなさんに会えて本当にうれしい。コロナ禍でも暮らしのサポートへの不安を解消するために、しっかりとした体制を取る。“安心してください”という発信をしていきたい」と述べました。

参加者からは、コロナ禍での障害当事者・家族・事業者それぞれから実態を語り思いを伝えました。

市長退席後、担当課との懇談では、要請回答への問題点の指摘や、コロナ禍での具体的な生活実態や不安等参加者から次々だされ、市の施策の具体的な発信を求めました。

当日は、アピール実委から10団体12名が参加。市側は郡市長、障害福祉部長他3名が対応しました。市議会派からも3会派6名の市議会議員が同席しました。

